

— 退役技術者・技能者の知恵と知識を活かし
— イチエフ事故収束に貢献するために —

今年度「事業計画」が決定しました。

理事長 安藤 博

福島原発行動隊(SVCF)が今年度取り組もうとしている事業の計画と、それを裏付ける予算をこの『SVCF通信:第85号』に掲載しました。

公益法人に関わる法律に基づくSVCFの規則(定款53条)に従って、去る三月末の理事会で決め内閣府に報告しました。

官庁報告用ですから前年度までの内容を踏襲した、いくぶん形式的のものです。今月27日の院内集会で、これをもとにわたくし安藤がもう少し踏み込んだ説明をいたします。

なるべく多くの方々がこの集会にご参加下さり、事業のあり方につき疑問を示しご提案して下さいを願っています。



平成29(2017)年度 公益社団法人福島原発行動隊 事業計画

【基本方針】

2011年3月11日発災の東京電力福島第一原発事故収束のため計画的、継続的、総合的に展開する事業を本年度も積極的に推進する。福島原発行動隊発足の目的、「原発事故の収束作業に当たる若い世代の放射線被ばくを軽減するため、比較的被ばくの害の少ない退役技術者・技能者を中心とする高齢者が、長年培った経験と能力を活用し、現場におもむいて行動する」を堅持して事業を行う。国会、内閣に対して、事故収束事業に高齢者を活用する体制の整備を本年度も継続して要請する。

【事業内容】

1. 福島第一原発構内および周辺環境放射線等モニタリング事業等

- 1) 放射性物質汚染対処特措法における除染特別地域及び汚染状況重点調査地域内の被災自治体と協定を結び、これら区域内にある被災家屋内および家屋周りの線量測定を行う。2016年度の事業を継続して行う。
- 2) 学校・病院など公共施設の依頼を受け、その線量測定等および準備活動を行う。
- 3) ドローンを活用した線量測定、除染等作業等の活動に向け、ドローン利用の技術習得、機材整備を図る。

2. 国、福島県の設置機関「除染情報プラザ」に対する専門家派遣事業

2016年度に事業実績がなかったことに鑑み、2017年度の事業とはしないが、国、福島県の要請に応じてその都度対応する。

3. 研修事業

- 1) 放射線等基礎教育、放射線等測定技術研修
福島県内及び全国主要都市で、講演会、集会などを開催する。各種団体からの講演依頼に応じて講師を派遣する。
- 2) 除染等技術研修
被災地地元の教育機関と提携して事故収束作業を行っている現場で研修を行う。
- 3) 放射線事故対応作業チームの育成

4. その他の軽微な活動

A. 福島第一原発事故収束作業応援事業

- 1) 福島第一原子力発電所の事故収束作業のさまざまな場所で、高線量環境での作業を優先的に受け持つこととし、政府に対する受入要請活動を行う。
- 2) 「原子力施設立地地域における緊急時対応支援システム」の構築を図る。
これらに事業に即応し得るよう、「非常時招集訓練」を計画的に実施することとし、合わせてメンバー間の連絡網を常時整備して「行動」に向けての基礎固めしておく。

B. 立法活動

事故収束の為に高齢者を受け入れる体制の整備を、国、地方自治体、国会議員や地方議員等へ継続的に働きかけを行い、その目的に適う事故収束事業体制の拡充を図るための立法活動を2016年度に継続して行う。

C. 広報宣伝並びにリクルート事業

事故発災から6年目となるのを機にリクルート事業に改めて力を入れることとし、被災地現地の実態に即して、宣伝用チラシ、パンフレット等各種の広報宣伝文書を更新する。

今年度「予算」は以下の通りです。

平成29(2017)年度収支予算書

2017年4月1日～2018年3月31日

(単位:円)

勘定科目	公益事業等会計				法人会計	合計
	公1 福一原発構内および 周辺の放射線モニタリング事業	公3 研修事業	共通	小計	小計	
I 一般正味財産増減の部						0
1. 経常増減の部						0
(1) 経常収益						0
受取会費	200,000	150,000	0	350,000	300,000	650,000
事業収益	0	0	0	0	0	0
受取寄附金	100,000	50,000	0	150,000	100,000	250,000
雑収益	0	0	0	0	0	0
受取利息	0	0	0	0	0	0
経常収益計	300,000	200,000	0	500,000	400,000	900,000
(2) 経常費用						
事業費	835,000	405,000	0	1,240,000	0	1,240,000
役員報酬	0	0	0	0	0	0
給与手当	20,000	0	0	20,000	0	20,000
臨時雇賃金	40,000	0	0	40,000	0	40,000
労災保険料	0	0	0	0	0	0
健康診断	20,000	0	0	20,000	0	20,000
放射線管理手帳	30,000	0	0	30,000	0	30,000
旅行保険	40,000	0	0	40,000	0	40,000
機材費	300,000	0	0	300,000	0	300,000
会場費	0	50,000	0	50,000	0	50,000
資料作成費	30,000	110,000	0	140,000	0	140,000
旅費・宿泊費	120,000	120,000	0	240,000	0	240,000
燃料・動力費用	30,000	45,000	0	75,000	0	75,000
校正費	105,000	0	0	105,000	0	105,000
通信運搬費	100,000	80,000	0	180,000	0	180,000
管理費	0	0	0	0	1,010,000	1,010,000
役員報酬	0	0	0	0	0	0
給与手当	0	0	0	0	0	0
会議費	0	0	0	0	30,000	30,000
旅費・交通費	0	0	0	0	250,000	250,000
通信費	0	0	0	0	100,000	100,000
印刷費	0	0	0	0	130,000	130,000
消耗・什器備品費	0	0	0	0	120,000	120,000
賃貸料	0	0	0	0	240,000	240,000
広告宣伝費	0	0	0	0	130,000	130,000
租税公課	0	0	0	0	0	0
雑費	0	0	0	0	10,000	10,000
経常費用計	835,000	405,000	0	1,240,000	1,010,000	2,250,000
当期経常増減	-535,000	-205,000	0	-740,000	-610,000	-1,350,000
2. 経常外増減の部						
(1) 経常外収益						
経常外収益	0	0	0	0	0	0
(2) 経常外費用						
経常外費用	0	0	0	0	0	0
当期経常外増減額	0	0	0	0	0	0
当期一般正味財産増減額	0	0	0	0	0	0
一般正味財産期首残	800,000	700,000	0	1,500,000	800,000	2,300,000
一般正味財産期末残	265,000	495,000	0	760,000	190,000	950,000
II 指定正味財産増減の部						
当期指定正味財産増減額	0	0	0	0	0	0
指定正味財産期首残	0	0	0	0	0	0
指定正味財産期末残	0	0	0	0	0	0
III 正味財産期末残高						
正味財産期末残	265,000	495,000	0	760,000	190,000	950,000

4月27日のSVCF院内集会で、年度初めに当たり、理事長の安藤博よりSVCF発足以来の6年を振り返り、新しい年度に取り組もうとしていることにつき報告をさせていただきます。ご都合がつけられる方は、是非ご参加ください。

●日時:4月27日(木曜日)11-13時

●会場:参議院議員会館地下一階B102号室

●議題:福島原発行動隊(SVCF)2017年度活動方針

※10時30分に参議院議員会館玄関ロビーにて入館証を配布